

【授業科目】 特別研究 I (産業看護学)

Master's Thesis I

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
後藤 由紀、柴田 英治、大谷 喜美江	1年次 後期	選択	2	60	演習	巻末掲載
授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する フィードバック 方法	産業看護学領域における課題を取り上げ、関連文献の検索、文献検討を行い、自分の研究課題を明確にし、研究方法を選定できるように、学生と議論しながら助言、指導する。 課題に対するフィードバック方法/演習中に課題について学生とともに検討し、学生にコメントする。					
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシーの①、③、④の達成に寄与している。					
到達目標 (履修者が 到達すべき 目標)	1. 文献検索・文献検討を行い、研究課題を発見し明確化できる。 2. 探究したい研究課題に関して、研究デザインを明確化できる。 3. 研究課題を解明するため適切な研究方法を選択できる。					
時間外学習 に必要な 内容・時間	研究テーマに関連する国内外の文献を幅広く検索し、文献検討を行い研究に反映できるようにして臨む。(各 120 分) ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合:予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合:予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合:予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。					
授業計画	第1～10回 それぞれの学生が関心をもっている領域の文献の批判的検討 第11～15回 研究課題の検討 探究したい問いや現象が研究課題となりうるのかの検討 第16～25回 研究方法の検討 1) 探究したい研究デザインについての検討 2) 探究したい現象についてのデータ収集方法の検討 3) 探究したい現象についての研究での倫理的配慮の検討 4) 探究したい現象の具体的なデータ収集方法の検討 (質問項目作成、インタビューガイド作成など) 第26～30回 研究計画書の企画					全て 後藤 柴田 大谷
評価方法 評価基準	演習における積極性および課題取り組み状況などを踏まえ、研究計画書を総合評価する。					
教科書	適宜紹介する。		参考書等	適宜紹介する。		